

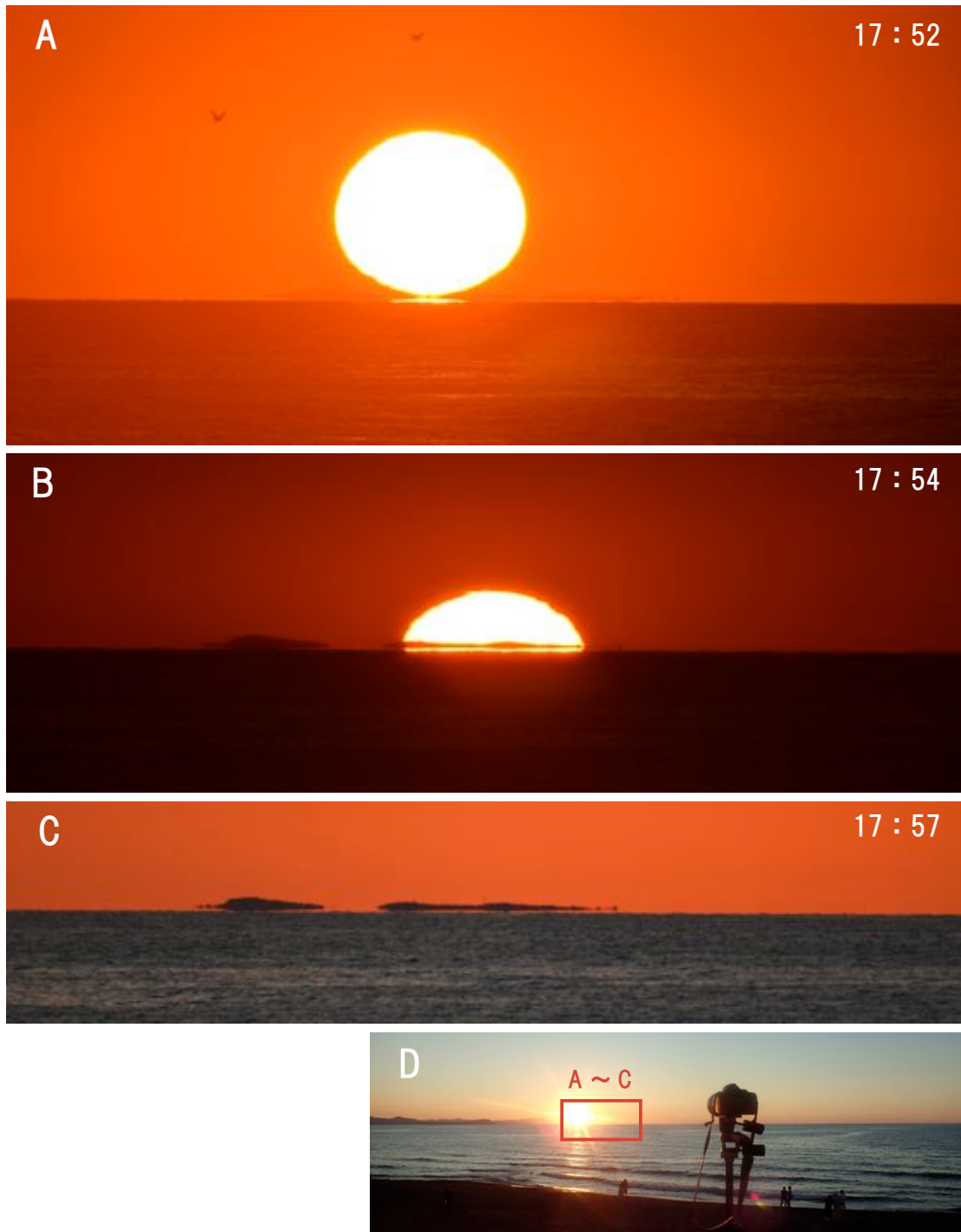
いしかり砂丘の風資料館 紀要

第 13 卷

BULLETIN OF THE ISHIKARI LOCAL MUSEUM

Volume 13

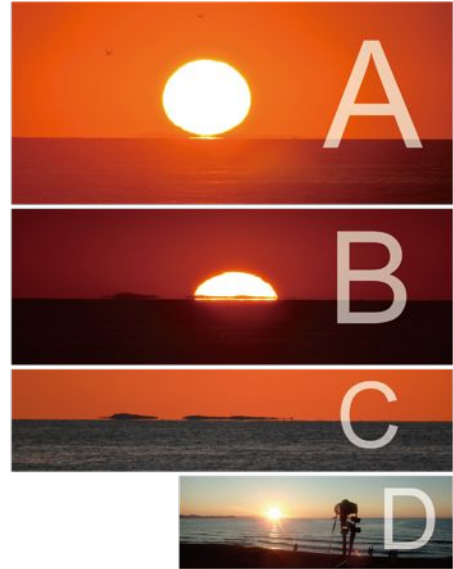
October, 2023



口絵1. 石狩湾で発生した浮島現象の背後に沈む太陽。2022年9月10日, 石狩浜(北海道石狩市, 石狩灯台付近)から撮影(A~C: Nikon D5100, 35mm フィルム換算で1000mm 相当)。A: 17:52, B: 17:54, C: 17:57, D: 撮影地と撮影状況(17:46)。赤い四角はA~Cのおおよその撮影範囲。

口絵 1. 石狩湾で発生した浮島現象の 背後に沈む太陽

Setting sun behind inferior mirage
seen in Ishikari Bay, Hokkaido, Japan



2022年9月10日、石狩湾に発生した浮島現象に重なるように水平線下に沈む太陽が、石狩浜から観測された。

浮島現象は、水平線付近のような遠方にある実体の下方に虚像が生じる下位蜃気楼である（日本蜃気楼協議会，2016）。海面直上の暖かい空気層の上に冷たい空気層が重なって成層状態にあるとき、光の屈折により遠方の島や船の直下に鏡があるように空の虚像が形成され、あたかもそれらが浮いているような景色に見える。海面水温よりも気温が大きく下がる冬季には、無風で空気層が乱されないような条件であれば、しばしば観測される現象である。

この日の日没時刻（札幌）は17:55（国立天文台，web），AMeDAS「山口」における18:00の気温は17.2℃，風向・風速は南西1.1m/s，石狩湾の海面水温は22℃であった（気象庁，web）。空気の透明度が高く，撮影地の西方約70kmの積丹半島北端の海岸段丘が，明瞭に「浮島」と化していた。その背後に重なるように太陽が水平線下へ沈んでいったため，実際に島が宙に浮いていると見紛うほどの，極めて珍しい光景が形成された。

（志賀 健司）

引用文献

気象庁 web. 過去の気象データ検索. <https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php> 2023年8月閲覧.

国立天文台 web. 暦計算室. <https://eco.mtk.nao.ac.jp/koyomi/> 2023年8月閲覧.

日本蜃気楼協議会，2016. 蜃気楼のすべて！. 108pp. 草思社.

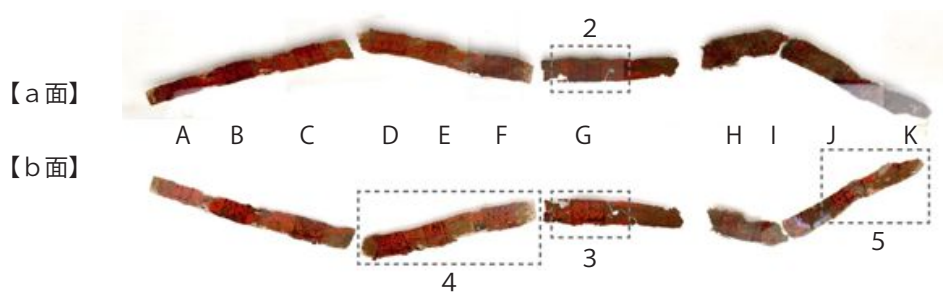


写真1. 「漆塗り弓」の全体（部分撮影による合成，両面を撮影）



写真2. 文様【a面-G】



写真3. 文様【b面-G】



写真4. 文様【b面-左からD・E・F】



写真5. 文様【b面-左からK・J】

口絵 2. 紅葉山 33 号遺跡の「漆塗り弓」

に描かれた渦巻文様

Swirl patterns drawn
on the lacquered bow excavated
from *Momijiyama No. 33*
archaeological Site



2022年に開催した、いしかり砂丘の風資料館テーマ展「発掘された石狩の遺跡」では、その一つに紅葉山33号遺跡の「漆塗り弓」を展示した。写真は、当該資料の両面に確認される文様を撮影したものである。

全体写真(写真1)では、墓壙から検出された上面をa面、その裏面をb面として掲載した(荒山・石橋2023:18, 写真5)。発掘調査報告書(石狩町教育委員会1984)の刊行時では、弓のクリーニングや保存処理が未完了であったため、b面に描かれた文様の実測図や撮影は未掲載となっている。

写真2および3は、弓のGに該当する箇所を描かれたa面およびb面の文様である。ラインで方形に区画された中に渦巻文と山形文を組合せた文様を描かれているが、文様の細部では、山形文を一重で描く部分と2重に描く部分がみられ、同じ箇所に描かれた構図の中にも部分的に違いがみられる。

写真4および5は、b面のうちD, E, FおよびK, Jに該当する部分に描かれた文様である。区画の中に渦巻文を描く基本的な構図は共通しているが、細部を比較すると、構図は同様であるが文様の色合いの異なるもの(例:FとJ)、渦巻文の形状が異なるもの(例:DとF)、山形文の有無など、各文様の細部に異なる点が認められる。弓に描かれた各部位の文様は、細部で意図的に変化させている可能性が考えられる。

※撮影画像は文様が明瞭になるようコントラストを調整のうえ掲載した。

(荒山 千恵)

引用文献

荒山千恵・石橋孝夫, 2023. 「石狩市紅葉山33号遺跡から出土した「漆塗り弓」について」, いしかり砂丘の風資料館研究紀要, 13:13-20頁.

石狩町教育委員会(石橋孝夫・清水雅男), 1984. 紅葉山33号遺跡発掘調査報告書—紅葉山砂丘における縄文時代前半期の墓地発掘の記録, 石狩町教育委員会.

いしかり砂丘の風資料館紀要

第13巻

目次

報告

- 志賀 健司：北海道石狩海岸林東部における2021～2022年のキタハウネンエビの記録 …1
- 志賀 健司：石狩湾沿岸における2022年のカタクチイワシの大量漂着 …7
- 荒山 千恵・石橋 孝夫：石狩市紅葉山33号遺跡から出土した「漆塗り弓」について …13
- 坂本 恵衣：石狩市浜益区に見られる動物伝説と信仰の一例 …21
- 川井 唯史・伊藤 昌弘・四ツ倉 典滋・品田 晃良：石狩市におけるウップレイノリ分布状況 …25
- 北原 涼子・高橋 恵美・志田 祐一郎・長谷川 理：石狩市浜益区・厚田区における植物目録 …39

資料

- 工藤 義衛：山形県鶴岡市立図書館所蔵「庄内藩警備の蝦夷地海岸図」について …63

口絵

- 志賀 健司：石狩湾で発生した浮島現象に沈む太陽 … i
- 荒山 千恵：紅葉山33号遺跡の「漆塗り弓」に描かれた渦巻文様 … iii

